



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目9番20号 大阪マルビル第一ホテル

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪4F

会長 川原 和彦 幹事 永田 秀次 広報委員長 高良 尚志

電話(06)6345-1115(直通) 電話(06)6341-4411(ホテル) FAX(06)6344-8222

E-mail:temma-rc@lapis.plala.or.jp http://temmabashirc.xsrv.jp



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

JULY 19 2012 NO. 2164

☆☆ 今日のプログラム ☆☆	次週(7月26日)のお知らせ
1) 例会 (2164回)	1) 例会 (2165回)
2) ソング ロータリー讃歌	2) ソング 私は海の子
3) クラブ協議会(ガバナー補佐訪問)	3) 卓話 「新入会員自己紹介」 箕村 保 会員 仲西 良浩会員
	4) 8月度定例理事会

☆☆ 平田 達男ガバナー補佐訪問を心から歓迎申し上げます ☆☆



国際ロータリー第2660地区

IM第6組担当

ひらた たつお
平田 達男 ガバナー補佐

プロフィール

【生年月日】 1937年1月22日

【職業】 不動産賃貸

【ロータリー歴】

1991年6月大阪淀川RC入会

1995~96年度 幹事

1996~97年度 理事

2003~04年度 会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

米山功功労者(マルチプル)

☆☆ 7月度の結婚記念日 ☆☆

高橋 竜啓

(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

皆様こんにちは!ご来訪のビジターの皆様、ゲストの皆様ようこそお越し下さいました。

本日の卓話に、2007~2008年度大阪RC会長で栄光時計(株) 小谷会長様にお越し頂きましてありがとうございます。後程よろしくお願いを申し上げます。

又ゆかりの深い、大阪大手前RCより山本会長はじめ5名さまにお見え頂きありがとうございます。どうぞ皆様お時間の許す限り、ごゆるりとお過ごしくださいます。

さて先週の初例会には、皆々様より激励のニコニコを多数頂き身の引き締まる想いでございます。その中で衣斐パスト会長より・・・

「川原会長、フォトンベルト12月21日迄はガンバッテ、後半は成り行きに任せガンバッテ下さい」と多額に頂戴いたしました。

銀河系の中にひときわエネルギーの高いドーナツ状の光の粒子の帯の存在が確認されております。太陽系は1万数千年の周期でこの中を通りぬけます。昨今の様々な異常気象と太陽の異変

☆☆ 出席報告 ☆☆ () 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	5名	会員総数	67名	7月12日の出席率	83.87%
国内ゲスト	2名	会員出席	52名(62名)	4週間前(6月21日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	20名	メイクアップを含む出席率	87.93%
外国ゲスト	0名	会員欠席	10名	メイクアップ実施会員	5名(欠席者12名)

そして12月20日頃より地球もスッポリとこの中を漂うとされています。肯定説も否定説もありますが、何かが起こらぬ事をひたすら願い、備えあれば憂いなしの半年を送りたいものがございます。それでは、いくつかのご報告をさせていただきます！

1. 先週 大阪大手前RCの初例会に鍬田副会長、永田幹事、三谷社会奉仕副委員長とで訪問させて頂きました。山本会長の熱い思いを拝聴し例会後は、本年度大手前RCにお世話になります、3クラブ合同社会奉仕事業の第一回目の打ち合わせがございました。

2. その夜はIM第6組・・・11クラブの会長・幹事による「第2回睦和会」が、高島ガバナー、平田ガバナー補佐、山田ガバナー補佐ノミニエを囲み開催され、大変和やかな雰囲気の中で、永田幹事より元気な活動方針発表と大手前さんに比べ、川原・永田は省エネコンビとの事で大爆笑でございました。

3. 昨日は大阪天満橋ローターアクトクラブ初例会に15名で出席しました。新年度よりガラリとメンバーも変わり、正に新たなスタートを認識した次第です。新世代森本委員長、ローターアクト山田委員長はじめ委員会の皆様には1年間何分よろしくお願い申し上げます。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①地区より「青少年交換プログラム2013-14年度派遣学生募集要項」が届いております。詳細につきましては掲示板をご覧ください。
- ②第11回ロータリー日韓親善会議のご案内が地区より届いております。詳細につきましては掲示板をご覧ください。
- ③本日「2012～2013年度 上半期会費のお願い」を会員ポストにお届けしておりますのでよろしくお願い申し上げます。
- ④No.2・6・7テーブル情報集会のご案内を本日お配りしております。
- ⑤「大阪天満橋RC四十五周年記念家族会」の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。

⑥次週例会場にて「クラブ協議会(ガバナー補佐訪問)」を開催いたします。ご出席者は先週お配りしています年次計画書を必ずご持参いただきますようお願いいたします。会員各位の多数のご参加をお願いします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本年も何卒宜しくご指導の程お願いします。山本、佐々木、曾我部、金高、辻村

大阪大手前RC

大手前RCより山本会長はじめご来訪頂き、ありがとうございます。 川原 和彦

大手前RCより山本会長はじめ、おこし頂き、ありがとうございます 鍬田 充生

大手前RC山本会長、辻村幹事、金高副会長、佐々木30周年実行委員長、曾我部社会奉仕委員長、おこしいたきありがとうございます

永田 秀次

本日の卓話者「小谷年司」様をよろしくお願ひ申し上げます。 中川 政照

在籍44ヵ年長もちしました。 川本 浩

29ヵ年在籍自祝 保倉 賢造

23ヶ年在籍自祝 安田 義治

12ヶ年在籍自祝 山田 雅浩

12ヶ年在籍自祝 高良 尚志

在籍4ヵ年自祝 山田 雅則

6ヶ月ホームクラブ皆出席自祝 寺内 清視

6ヶ月ホームクラブ皆出席自祝 山村 朋史

6ヵ月ホームクラブ皆出席自祝 梅本 知秀

6ヶ月ホームクラブ皆出席自祝 中島 清治

結婚記念日自祝 川原会長お花のプレゼントありがとうございます。 高橋 竜啓

本年度理事役員の皆様の御活躍を期待します。

新旧理事・役員・委員長懇親会幹事先週の初例会では皆様より多くの激励のニコニコを賜わりありがとうございました。コツコツとガンバリます。 川原 和彦

先週例会欠席おわび。川原会長 1週間遅れですが、一年間よろしくお願い申し上げます。

勝見 茂

平成24年7月12日 合計金 108,000円

累計金 343,000円

☆☆ 先週 (7月12日) の卓話 ☆☆

「時計のはなし」

栄光時計(株) 代表取締役会長

2007-08年度大阪ロータリークラブ会長

小谷 年司 様

中川 政照 会員紹介



時計の発祥地はスイスと思っている方が大多数ですが、機械時計の生まれたのはドイツとかイタリアでその頃のスイスは山ばかりの貧乏国で、産業なんかが生まれ出る気配はありませんでした。スイス時計ができるようになったのは旧教徒、新教徒が血みどろになって戦った宗教戦争の時に、職人階級が主たるユグノー（新教徒）がカルヴァンの庇護を求めて、フランスから亡命したことが、時計製造のきっかけとなっています。それまでも多少の基盤はありましたが、16世紀末のことです。

正確な時計によって時差を知ることができます。正午（太陽の南中）は天気なら誰でも簡単に知ることができますから、出発した場所からの時差を知ること、経度が正確に算出されます。18世紀の時計は振子が主でしたから、海上で動く正確な時計を作るのは不可能でした。経度は天測によって六分儀などを使って古くから計算することは可能でした。

ところが18世紀の半ばになって英国にジョン・ハリスンという天才的な時計師がでて海上で正確に動く時計を作り出しました。これは今でも経度ゼロのグリニッジ天文台に展示されてます。時計は英国の時代が続きましたが、後にフランスで仕事をしたブレゲあたりがスイスから出て、スイスの時計が世に認め始められました。19世紀に入ってからです。

その後スイスは、アメリカの時代産業との競争に苦しみ、これにやっと打ち勝ったかと思うと、日本のセイコーかシチズンのクォーツ革命大量生産のために、壊滅したかにみえました。

それがまた機械時代の復活で日の目をみるに至って、今では圧倒的な力を持っています。

私個人としては時間を測る器具としては安いクォーツ電波時計が最高と思っておりますが、時間を計るといっても個人の持つ時間、価値は異なります。モーツアルトは35才、シューベルトは32才で死んでますが、彼等は普通人以上の仕事をなしとげてます。天才の時間と我々凡人の時間は同じでしょうか。

ハイデッガーという哲学者は人間を現実と理想の差に悩み、現在を生きながら、同時に過去と未来を生きる、しかもいつくるかも知れない、確実にやってくる死を常に意識せざるを得ない存在とっています。

そう考えると時間は大切です。それを計るにはどうか高い時計をみなさん買ってください。

☆☆ 大阪大手前RC御来訪 ☆☆

大手前ロータリーより、山本会長、辻村幹事、金高副会長、佐々木30周年実行委員長、曾我部社会奉仕委員長に、お越し頂き、ご挨拶及び創立30周年についてのご紹介を頂きました。



☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

散らし 鮭 セット

ロータリー讃歌

大阪RC

作詞 大林芳郎

作曲 津田宗三郎

ロータリー 奉仕の精神

ロータリー 誠意と友愛

ロータリー 徳義に立って

世界を 一つに 結ぶ

ロータリー ロータリー

地区ガバナーになるためには、国内で開催される2回（2011年9月、2011年11月）の「GETS」と米国・サンディエゴで開催される「国際協議会」への参加が義務づけられています。その報告は、ガバナー月信に報告させていただきました。これらの研修は、当地区でも3月31日に開催されましたPETSに会長エレクトの皆様方に出席義務があることと同様です。

サンディエゴ「国際協議会」は2012年1月16日～20日までの間、朝から夕方までガバナーになるべく、研修を受けて参りました。「Rotary Japan」のHP、「ロータリーの友」にも詳細に掲載されましたので、ご覧になった方も大勢いらっしゃると思います。

2012～13年度RI会長は、1968～69年度 東ヶ崎 潔氏、1982～83年度 向笠 廣次（むかさ ひろじ）氏に次ぐ、30年ぶり、3人目の日本人RI会長 田中 作次氏（D2770 八潮RC）です。

今年度 田中RI会長のテーマは「Peace Through Service～奉仕を通じて平和を」です。これは、ただ単に戦争と平和ということではなく、この平和は、一人ひとりが心穏やかに日々を生きていくことを意味し、このことが、ロータリーの究極の目的で、ロータリーにしか出来ない世界平和に通じる道である、と述べています。

ロータリークラブに入会して、ロータリーライフを充分に楽しみ、この組織の将来についてお考えになったことがおありかと思えます。ロータリークラブは未来に続くものと信じていますし、皆様方もそう願っていると思います。そのためには、ロータリークラブを引き継いでいく「若いロータリアン」の育成に力を注がなくてはならないでしょう。

それに加え、未来の地球平和を維持していく「若い力・若いリーダーを育む」義務がロータリアン、あるいは世の中の先輩である私たちにはあると思います。それを踏まえて、2012～13年度の地区方針を「育もう未来の力を～飛躍～」といたしました。

停滞している現状を脱却するためには、質の高い、ロータリーにふさわしい新しい力を注入するの必要に迫られていることは、皆様方お判りだと思います。さまざまな社会的変化に伴い、ロータリー自身、ロータリアン自身も変化していく→変わらなくてはならないのです。カルヤン・バネルジーRI直前会長、田中RI会長もロータリーの改革を訴えています。

今年度は、次の4つの言葉をKeywordにさせていただきたいと思えます。

- ①会員増強・会員維持 ②会員研修 ③健全な青少年の育成 ④平和な社会への貢献
- ◎会員増強についてのお願い

現在世界で、120万人のロータリークラブ会員を、2012～15年までに130万人にするのがRIの目標です。当地区の2012年2月度の会員数は3,710名です。大阪でも全力を尽くして「ロータリアンの素質」を持った会員を増強する努力をしなければならぬと思えます。地区で3,900名、各クラブ6%の純増をお願いいたします。

多分、この6%については、皆様「そんなこと出来ない」と思われる数字だと思えますが、自然退会者を含めた退会者のことを考えると、これでも結果的には、凄く低い数字になってしまうことは、皆様良くお判りだと思います。現在在籍している新しいロータリアンをロータリークラブの次のリーダーとして研修を積んでいただくことは言をまたないことです。各クラブ「プロジェクト3900」にご参加下さい。

地区でも皆様方の負担金を極力少なくする努力をしていますが、会員が増加することで地区への負担金の減額、強いては各クラブの会費等の減額につながり、会員の増強と良い歯車になると思えます。

- ◎東日本大震災支援（災害支援）のお願い

Keywordには入れていませんが、震災支援も大きな責務と考えます。

次年度も地区としては、災害支援を継続して参ります。この支援は、今後何年に及ぶ事業か判りませんが、ロータリーとして継続すべき大きな事業の一つであると考えて下さい。

次年度は支援の額は申し上げませんが、クラブ、あるいは会員お一人おひとりのお考えで、出来る限り最高の額を、地区災害支援基金に是非ご入金下さいようお願い致します。第2660地区災害支援基金も現在枯渇しています。災害支援プロジェクト委員会は、今後国内外で発生するであろう災害に対しても支援が出来るよう、地区として常設の委員会にしていくようにしたいと願っています。震災の支援につきましては、2年目を迎え、更に細かな「心を見守るような」支援が必要となってくるでしょう。心のケアが大事になってくる時期に入ってくると思えます。地域の社会保険協議会との連携も必要になっていくでしょう。

災害支援プロジェクト委員会には、基金の管理のみならず、この様な新しい展開の取り組み、新たな災害支援へのマニュアル作成などの模索も併せて行っていただきたいと思います。

現在、各クラブで行っている、東北のロータリークラブやその他の団体との連携は、更に深めて戴きたいと思えます。

震災支援につきましては、各クラブ、個人個人で考えが大きく異なっていることも事実でしょう。

- ◎結びに

私は「灯心に火を点す」という奉仕活動が大切だと思え、奉仕活動を行っています。お互いのニーズがかみ合わないときは、そっと火を離し、心が通うまでじっと待つことも必要な時もあります。

一度ともった灯が、明るく周囲を照らし、奉仕をする人も「して良かった」、奉仕を受ける人も「それを受けて幸せだ」と思う奉仕事業が大切だと思えます。その奉仕を実行、持続するためには、ロータリアンにふさわしい若い力が必要なのです。

地区にとって、前向きで建設的なご意見は、出来る限り取り入れたいと思えますので、お寄せ下さい。

最後になりましたが、一年間、皆様方のお力添えを戴きながら重責を果たしたいと思っていますので、ご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。
(2012-13 RI2660地区 web siteより)